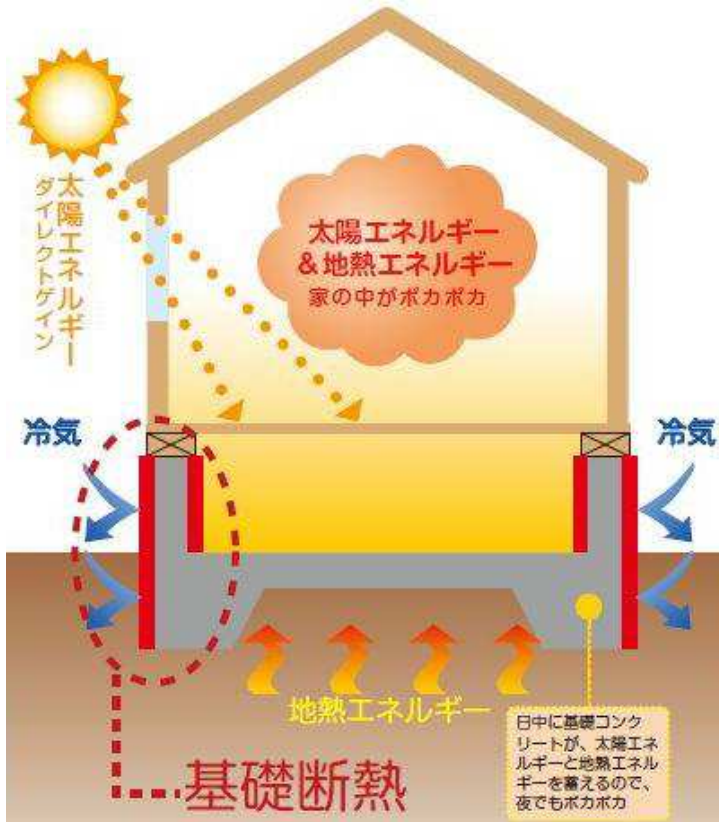


基礎断熱による自然エネルギーの有効活用



タイト・モールド工法による基礎断熱効果のイメージ図

【基礎断熱のメリット】

- 床断熱と比べて、自然エネルギーの有効活用ができる。
- 床下空間の有効活用ができる。(床下収納などとして活用)
- 床下空間に配管・配線を行う為、メンテナンスが容易なうえ、床下の給排気、給湯、暖房の各種配管が凍結する心配もなく、不凍栓が不要になる。
- コンクリートを冷やさない為、床下結露、アンカー結露を防止でき、木材腐朽の防止効果が期待できる。

断熱材でサンドイッチ！

タイト・モールドは、凍結深度（土が凍結する深さ）まで断熱する為、冷気はコンクリートに伝わってきません。基礎の両側を断熱材でサンドイッチすることで、更に断熱効果を高めます。

★太陽熱・地熱を利用

太陽光

冬の太陽は夏よりも低く、家の中まで日差しが入ってきます。床に伝わった太陽熱エネルギーは、床下のコンクリートに蓄熱されます。蓄えられた熱は、夜間に「放熱」され床下から家の中が暖められます。

地熱

地熱エネルギーは、建物の下2～3mほどの深さのところ、年間ほぼ13～15℃と一定に保たれています。地表面の温度は、冬は8℃、夏は16～17℃くらいです。この温度は夏涼しく、冬は暖かく感じる温度です。この地熱エネルギーも、床下のコンクリートを通じて蓄えられ、快適な居室空間に利用されます。